

<アイデア部門用>

5 空き家の概要

所在地	魚津市文化町		
物件概要	敷地面積	115.59 m ²	
	利活用時床面積	1階 77.70 m ²	2階 53.70 m ²
	建築時期	大正12年頃	
	構造と階数	木造 2階建て	
	用途	利活用前 住宅+古物商	利活用後 UIJ ターン向け職住隣接 住宅+コミュニティスペース

6 提案内容

《テーマ》※提案書にも記載してください。

はじめる × つながる in UOZU
(START UP) (CONNECT WITH)

《コンセプト》※提案書にも記載してください。

及び《内容》

地域住民の弱くなってきた「横系」を繋ぎとめるにあたり
魚津市の取組みと別の次元で
UIJ ターンの若者にこの地区の「縦系」となってもらうことを提案したい

提供する住宅は1DKの極小住宅

そのため、単身、あるいは子どものいない夫婦を住まい手として想定
ただし職住隣接の住宅

塾や教室、カフェ等、地域住民と直接交流しうる職種に限り募集を行う

この職のためのスペースをコミュニティスペースと空間的に重複させ、
異なる年代層や異なる背景を持つ地域住民を繋ぐ

この住宅の住まい手には、以下の3つの条件を守ることを前提に

この住宅を無料あるいは低廉な家賃で貸し出す

1. この住宅に設けるコミュニティスペースを地域住民に開放すること
2. この住宅に設けるコミュニティスペースを適切に維持管理すること
(光熱費及び修繕費は市負担)
3. 3年程度の一定期間の後に退去すること

この提案は住まい手に対し
募集時点からずっとこの地に住み続けてもらうことを強要するものではない

住まい手自身の職に対しての合う合わない

富山との、魚津との、この地域との合う合わない

地域住民との合う合わない

一人の人間であれば当然あるであろうこれらに関する「お試し」を
この地区の人の交流を促すきっかけとして空き家を活用する

もし、住まい手がこの地域を気に入ってくれたのであれば

退去後に周辺空き家を改修して移り住んでくれればと思う

（蛇足だが、この際に市で空き家探しの助力及び改修費用の補助を行えば
より効果はあがると考える）

この一連の流れにより

最終的にはこの地域に真に必要な人材が確保されるであろうし

この過程で地域住民と地域外から来る住まい手とが

日常生活レベルで直接交流していくことで

地域住民がこの地域に真に必要なものは何かを考えるきっかけとなる

7 工夫した点

○職住隣接の住宅とコミュニティスペースを兼ねるシステム

この建物だけにとどまらず、今後地域が活性化していくきっかけとしての提案となるよう意識した。（コンセプト参照）

○このシステムを可能とする、公私の空間分化を可能としたプランニング

プライベート⇄セミプライベート⇄パブリックと中庭を囲んで緩やかに連続する計画とした。

また、パブリックとなるコミュニティスペースは大きな吹き抜け空間とすることにより、圧迫感をなくし、人が集まりやすい空間とするよう意識した。

○中庭及び通り土間

通風及び採光（中庭のみ）を十分確保し、奥深い町家にあっても設備機器への負荷を低減するよう意識した。

8 アピールポイント

今、全国各地で急増する空き家への対策は、地域ぐるみで向き合わなければならない急務と思います。

しかし、あえてこれをピンチではなくチャンスととらえたいところです。

多層的な意味づけによって流れを展開させることで、地域住民の意識や地域の独自性を掘り起こす可能性が眠っていると考えます。

できれば、継続的な動きに結び付けるためにも、一度整備して、はい、おわりではなく、持続可能な全体のシステムをと考えました。

したがって、そこが一番のアピールポイントになると思います。

なかなか空き家について積極的に関与する機会がないですが、このコンテストという機会に、今まで自分が悶々と思っていたことを整理してみました。

この提案が地域住民及び関係各位に今までよりも少しだけ視野を広くする契機となればありがたく思います。

このような機会を作っていただき、感謝に堪えません。

ありがとうございました。